

日本語部保護者の方々より

運動会

日本語部には、日本以外の国で教育を受けた保護者や、両親ともに日本には全く縁がないけれど子供は日本語を勉強したいと言って入学して来た子供達が少なくありません。

そういう保護者や生徒達にとって、運動会は未知の世界。それでも、運動会って、初めて参加や見学をするにしても、日本語が分からなかったとしても、とても分かりやすく馴染みやすい行事だと思います。紅白のチームに分かれて競う、速く走れた子が勝つ、玉が多く入った方が勝ち、綱を強く引っ張った方が勝ち。

暑すぎるほどではありましたが、青く晴れやかな空の下、言葉や文化の壁を越えて、保護者や生徒達が競技に参加したり、声援を送ったりする姿を見て、私は日本人で日本の教育を受けた親として、とても嬉しく思いました。

アメリカで生まれ育つ子供たちがどこまで日本のことを理解してくれているかは分かりません。でも、きっと、いつか子供たちが大人になって日本に暮らす機会に恵まれたとしたら、アメリカ人である夫や、大人になってからアメリカに来た私のように、異文化としてではなく、ああ、そういえば日本語学校でこういうのやったな、こういうことだったんだな、という、子供の頃の追体験として感じてくれたら、これ以上幸せなことはありません。

最後に、そのような運動会を無事執り行うためにご尽力くださった先生方やPTA 執行部、運営委員の方々をはじめ、多くの皆様、本当にありがとうございました。



今年の運動会

「この時期、現地校の年度末や各種スポーツのシーズン終了に伴う雑事、そして多くの方は日本への里帰りの準備などで多忙を極めておられる事と思います。日本語学校の1学期も無事に終わりつつありますが、1学期中の一大イベントである運動会が終わってホッとされている方もおられるのではないのでしょうか。

今年は生憎(?)の猛暑で、厳しい暑さに見舞われました。毎年長い時間をかけて準備をされている運営委員会の方々を始め、学校側の様々な事情もあるかとは思いますが、1保護者(特に低学年の子供をもつ親として…)の率直な思いを述べさせて頂けるならば、残念ながら余りの暑さの為に、せっかくの楽しさが半減してしまったなあ…^_^; と言うのが正直な感想です。途中で気分を悪くされたお子さんも多かったですし、楽しいはずのお弁当タイムも、「早く、早く、取り敢えず急いで食べよう」みたいな感じで、他のご家族と歓談しながら…というふうには行きませんでした。行事日程には私達の知らない諸事情があるのですが、せっかくの楽しい行事が楽しい思い出になるよう、今後の判断基準(決行可否か)をご一考いただければ幸いです。

最後に…あの暑さの中準備から始まって、競技の進行並びに小さい子供達のお世話係、そして最後の片付けまで頑張ってくれた中高生のみなさん、本当にお疲れ様でした、ありがとう\(^o^)/みなさん、どうぞ健康で楽しい夏休みをお過ごしください！」

